

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	レンビマ(甲状腺癌)
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	根治切除不能な甲状腺癌
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	thyroid-1
登録日・更新日	2018年4月24日
削除日	
出典	レンビマカプセル適正使用ガイド
入力者	宮川 慧子

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	レンビマカプセル	4, 10mg	1日1回 24mg	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(経口)	1日1回	連日

1コースの期間	設定なし
投与間隔の短縮規定	該当しない
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	<ul style="list-style-type: none"> ・開始用量 開始 1日1回 24mg 1段階減量 1日1回 20mg 2段階減量 1日1回 14mg 3段階減量 1日1回 10mg 4段階減量 1日1回 8mg 5段階減量 1日1回 4mg 高血圧 ・収縮期血圧140mmHg以上又は拡張期血圧90mmHg以上のとき:本剤の投与を継続し、降圧剤の投与を行う。 ・降圧治療にも係らず、収縮期血圧160mmHg以上又は拡張期血圧100mmHg以上のとき:収縮期血圧150mmHg以下及び拡張期血圧95mmHg以下になるまで本剤を休薬し、降圧剤による治療を行う。本剤の投与を再開する場合、1段階減量する。 ・Grade 4の副作用が発現した場合:本剤の投与を中止する。 その他の副作用 ・忍容性がないGrade 2又はGrade 3の副作用が発現した場合:本剤の投与開始前の状態又はGrade 1以下に回復するまで休薬する。 本剤の投与を再開する場合、1段階減量する。 ・Grade 4(生命を脅かさない臨床検査値異常の場合は、Grade 3の副作用と同じ処置とする):投与中止
前投薬	なし
その他の注意事項	

記入者	宮川 慧子
確認者	大山 優